

俳優・中西和久と、べてるの家・向谷地生良による 〈いのち〉のメッセージ



なかにし かずひさ
《俳優》中西 和久

福岡県出身。初舞台は1977年『浅草キヨシ伝』（井上ひさし作・小沢昭一演出）の川端康成役。86年より自作のひとり芝居『火の玉のはなし』をもって全国行脚。『しのだづま考』の演技で91年度文化庁芸術祭賞を受賞。2013年、NHKBSプレミアム「心はものに狂わねど〜中西和久説教節ひとり芝居」福岡県文化賞、春日市民文化賞などを受賞。京楽座主宰。1997年からはじまった福岡県提供の人権啓発ラジオ対談番組「中西和久ひとり日記」（KBC）は人気の長寿番組となり、これまでに2度書籍化される。『ひとり日記 このひとに会いたい』（2016）には奥田知志牧師との対談も収録。

6月10日（土） 午後3時より（2時半開場）

第五回 荒生田塾講演会

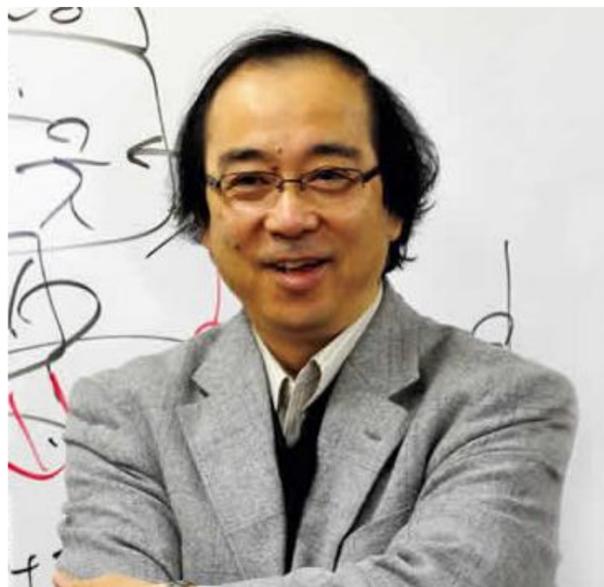
入場無料！（カンパあり）

中西和久氏講演会



「芸能人とは何か？」

芸からいのちを考える」



むかいやち いくよし
《べてるの家》向谷地 生良

北海道医療大学大学院看護福祉学研究科教授
青森県出身。1978年に北海道浦河町の病院に精神科専属のソーシャルワーカーとして赴任し、1984年に地域活動拠点「浦河べてるの家」を設立。当事者が自らの症状を含めた生活上の出来事を研究・考察する「当事者研究」は年々広がりを見せている。2月にはNHK Eテレ「こころの時代〜宗教・人生〜」に取り上げられ、反響を呼んだ。

6月11日（日） 午前10時半より

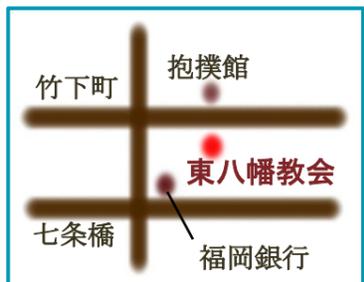
キリスト教講演会（礼拝）

講師：奥田知志牧師（当教会牧師）

「神様は、どうでもいい『いのち』をお創りになるほどお暇ではありません」

ゲストスピーカー

向谷地生良氏（「浦河べてるの家」理事）



東八幡キリスト教会

北九州市八幡東区荒生田 2-1-40
TEL：093-651-6669

「七条」バス停より徒歩2分

←総木造の、大きな軒が目印の教会です！

※いずれも入場無料ですが、カンパ、献金を受け付けます。

※席に限りがあるので、お早めにお越しください。

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。



東八幡教会(軒の教会)は2015年度のグッドデザイン賞、第10回福岡県美しいまちづくり建築賞を受賞しました。

北海道、新富良野プリンスホテルの森の中、「森の時計」というカフェがある。倉本聰脚本のドラマ「やさしい時間」の舞台となったカフェだ。現在もそのまま営業をしている。入口を入ると奥にL字型のカウンターがあり、お客自身がコーヒー豆をミルで挽く。カウンターの背景は全面がガラスになっており、熊笹の森がうかがえる。静かな店内にはコーヒー豆を挽く音が響く。ドラマでは、そのカウンターの子どもを残し死んだ母親役の大竹しのぶが夫である寺尾聰が入れるコーヒーを飲んでた。

札幌の北星学園大学に講演で呼ばれ久しぶりに北海道へ。北星学園大学は、日本軍「慰安婦」報道にかかわった元新聞記者が非常勤講師として勤務していることをめぐり脅迫を受けた大学だ。「辞めさせないと学生を痛めつける」「ガスボンベを爆発させる」など、到底法治国家とは思えない脅迫が大学に届いた。「愛国」という名の「テロ」にさらされたのだ。さらに家族に対して「自殺するまで追い込む」など、赦されない攻撃が続いた。この件については下村文部大臣も「脅迫は許されない。負けないように対応を」と発言。そんな時代の嵐の中で北星学園大学は元記者の雇用を守った。その学校に呼ばれたことは大変誇らしいことだった。一時は右翼の街宣車が押し寄せたそうだが、時が経ち今はキャンパスに静けさが戻っていた。

妻と二人で富良野に足を延ばした。そして「森の時計」へ。二回目だったが、少し懐かしい感じがした。コーヒーをいただき森を見つめる。壁には倉本聰さんの自筆の「森の時計はゆっくり時を刻む」という額が掛けられている。確かにこの時間は「ゆっくり」流れている。

時に振り回されて生きる現代人にとって、森は「ゆっくり刻まれる時」の存在を思い起こさせる。カフェ「森の時計」は、プリンスホテルが人気ドラマを活用し商業的に造ったものかも知れないが、森自体は本物で、やはりそこには倉本さんがいう「ゆっくり刻まれる時」が存在しているように思う。

時というものは不思議で、確かに「早い時」と「ゆっくりの時」がある。朝起きて家を出るまでひと時はアツという間に過ぎていく。面白くない話、嫌なことだと「長く」感じる。教会の礼拝に出席されている皆さまは、私の説教を「早い」と感じておられるか、はたまた「遅い」と感じておられるか、少々心配。

以前、脳科学者の茂木健一郎さんと「一緒した時」「新しいことに取り組んでいるとき、人の脳は時間を長く感じる」と言っておられた。小学校一年生の時は、一日が長かったように思うのは毎日が新しいことの連続だったからだ。一方で物事に熱中していると、その時間は短く感じられる。これは「脳科学的に正しい」らしい。時間は、自分の感じ方で長くも短くもなるのだ。

アインシュタインは相対性理論の中で時間も空間も絶対的ではなく相対的な事柄で長くなったり、短くなったりすると言う。凡人の私には、さっぱりわからない。が、いずれにせよ、倉本さんいうように「ゆっくり時を刻む」ということが実際に起こりうるのは、科学の世界でも証明されている。人は、「早い時」と「ゆっくりの時」を生きている。

さらにもう一つの時がある。聖書が教える時。「すべてのわざには時がある。生（うま）るるに時があり、死ぬるに時があり、植えるに時があり、植えたものを抜くに時があり、殺すに時があり、いやすに時があり、（中略）愛するに時があり、憎むに時があり、戦うに時があり、和らぐに時がある。（中略）神のなされることは皆その時にならぬ美しい」。旧約聖書「伝道の書」のことばである。聖書記者は、私たちがどう感じるかということではなく、「神の時」を思えと告げている。生きるにしても、死ぬにしても時がある。それは「人の時」ではなく「神の時」。「なぜ、今なのか」「まだ続くのか」。私たちは時をめぐって思いを巡らす。「早い」と感じたり、「ゆっくり」と感じたりする。だが実は、早くも遅くもないのかも知れない。「皆その時にならぬ美しい」と聖書は言うからだ。「時は皆、美しい」、素敵だと思おう。

早く過ぎ去る時があり、ゆっくり刻む時がある。「ゆっくり刻む時」に出会うため森に行きたい。一方、時を「美しい」と思える感性を持ちたい。早くとも、遅くとも「神の時」はかなう。これは感性ではなく信仰というべきか。人生のすべての時は、神からすれば遅くも早くもなく「時にならぬ美しい」。神の時を信じたい。実は、この「ついで」の旅は結婚二十九年の記念の旅だった。まあ、いろいろあったがすべては「時にならぬ美しい」と言いたい。

今後の予定

① 7月22日(土) 18時半 語り場 Bar

荒生田塾の新企画、「語り場 Bar」！！

家族、老い、お金、人工知能、教育、信仰……。様々なテーマを通して「人は何のために生きるのか」を考える Bar。聴くだけの講演会やコンサートではなく、奥田牧師とも気軽に語り合える場として企画します。3ヶ月に1回程度の開催予定。

第1回は 7月22日(土) 18時半 から。乞うご期待！！



② 8月13日(日) 平和祈念礼拝

毎年夏に、戦争被害者をおぼえて追悼平和祈念礼拝を守っています。日本が二度と戦争の惨禍を繰り返さないように祈りを合わせましょう。

③ 11月4日(土) 沢知恵 ピアノ弾き語りコンサート 「かかわらなければ vol.3」

昨年、一昨年と大好評の沢知恵ピアノ弾き語りコンサート。今年はオールリクエストでやってくださいます！お楽しみに！チケットの予約・問い合わせは、電話、またはEメールにて受付中。

④ 11月23日(木・休) 教会バザー

「安い！うまい！ためになる！」。毎年恒例の教会バザー、今年もやります！10月から献品の受付を開始します。ご協力、よろしくお願いいたします。

⑤ 12月24日(日) クリスマス礼拝・イブ燭火礼拝

イエス・キリストの誕生を祝うクリスマス。夜はキャンドルサービスです。どなたでもお越しください！



〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田 2丁目 1番 40

電話/FAX (093) 651-6669 ホームページ: [東八幡キリスト教会](http://www.higashiyahata.ch)

Email: higashiyahata.ch.1955@nifty.com

牧師: 奥田 知志 石橋 誠一
協働牧師: 藤田 英彦 森松 長生 齊藤弘司

定例集会

- ・主日礼拝(一般の部)
毎週日曜午前 10時 30分より
- ・子ども礼拝(小学生以下の部)
毎週日曜午前 9時 30分
- ・少年少女会(中高生会)
毎週日曜日礼拝後
- ・聖書の学びとお祈りの会
夜の部 毎週水曜日午後 7時 30分
昼の部 毎月第3水曜日午後 1時

牧師へのご相談 随時受付中！

牧師へのご相談を受け付けています。お困りのこと、誰にも相談できないこと、何でもかまいません。一人で悩まずにご相談ください。ともかく一緒に悩みましょう！牧師には守秘義務がありますので安心して相談ください。

電話 093-651-6669